

第 13 章 環境保全啓発事業・環境教育

1 環境保全啓発事業

(1) 環境月間

環境省では、環境基本法に定められた 6 月 5 日の「環境の日」を中心とする 1 か月間を環境月間と定め、広く国民一般に環境活動への積極的な参加を普及啓発しており、本市においても、環境月間の趣旨を市民・事業所等に啓発するため、各種の事業を実施しています。
 なお、令和 3 年度の行事は、表 13-1(1)のとおりです。

表 13-1(1) 環境月間行事内容

(令和 3 年度)

事業名	内容	場所等
広報いわき	環境月間の特集ページを掲載し、環境にやさしい生活を紹介しました。	広報いわき6月号
その他の広報活動	市公式 Facebook 等により環境保全の重要性を呼びかけました。	

(2) 再生可能エネルギー啓発事業

本市は、再生可能エネルギーについて理解を深めてもらうため、小中学生を対象とした副読本「目指そう！脱炭素社会 学ぼう再生可能エネルギー」の作成や出前講座「再生可能エネルギーって何？」の開催など、次世代を担う子どもたちをはじめ、市民への啓発事業を実施しています。



令和3年度作成副読本

2 環境教育・普及啓発の推進

(1) 環境アドバイザー派遣事業

本市は、環境に配慮したまちづくりを推進するため、自然とのふれあいや野外観察、健康な暮らし、緑化、省エネルギーや省資源の方法など、市民が自発的な環境保全活動に取り組むにあたり参考となる知識を提供する「いわき市環境アドバイザー」を派遣しています。

表 13-2(1)-1 環境アドバイザー派遣実績

年度	受講者数(人)	派遣回数(回)	派遣人数(人)
平成 29 年度	824	13	21
平成 30 年度	1,783	36	51
平成 31 年度 (令和元年度)	1,700	43	50
令和 2 年度	1,085	38	50
令和 3 年度	805	26	33

～環境アドバイザーの派遣申請等について～

市民の皆様が市内において、参加者 10 人以上の環境に関する講演会や講習会、自然観察会を主催する場合、講師として「いわき市環境アドバイザー」を派遣しています。派遣を希望される方は、開催予定日の 30 日前までに環境企画課までお申込みください。

また、「いわき市環境アドバイザー」として登録していただける方についても随時募集しておりますので、登録を希望される方は環境企画課までお問合せください。

【お申込みにあたって】

- ▼ 講師の謝礼・交通費は市が負担しますが、会場・資料など開催に必要な準備は主催者にてご用意ください。
- ▼ 講演内容等の具体的な事項は、主催者とアドバイザーで協議していただきます。
- ▼ 政治、宗教、営利を目的とした講演会等への派遣はいたしません。

表 13-2(1)-2 環境アドバイザー派遣内容一覧

(令和4年3月末現在)

分類	講演内容		講師
自然環境	自然環境	「人間の生活と自然環境のかかわり」に関する野外体験活動及びその支援	猪村 珠紀
		幼児期の自然体験活動、自然観察会の企画・実施	草野 秀雄
		「自然環境と人間とのかかわり」を基礎とした環境教育及びその支援	佐藤 烈
		自然環境全般について	鈴木 信一
		木工クラフト、ペーパークラフト及び自然観察会の支援・指導	鈴木 晴美
		自然観察を通じた環境・生物多様性の学習、里山の自然と人のかかわりについて	津崎 順
		自然観察会指導、ネイチャーゲーム指導	古川 眞智子
		自然観察会指導・森林ボランティア	鈴木 正明
		ビオトープの創出・再生・保全の企画・実施、その必要性の講演	佐川 憲一
		幼稚園や小学校での総合学習・環境学習の支援及び指導	古口 英子
		「里山と生活のかかわり」等を基本に体験学習や自然学習の企画・実施・支援	箱崎 和雄
		幼稚園や小学校での総合学習・環境学習の支援、自然観察会を通じた自然の不思議発見のお手伝い	吉田 良子
	河川環境と生活の関わりなどの環境教育及びその支援	吉田 真弓	
	水質調査	河川の水質調査	橋本 孝一
		水生生物を主とした河川の水質調査の支援	吉田 真弓
		水質調査支援	平川 英人
自然エネルギー	自然エネルギー学習支援		
放射線	実験提示型出前授業による防災放射線環境学習支援	石川 哲夫	
大気環境	星空観察及び天体観測の解説・指導、星空観察会の開催、光害の普及啓発活動	桂 伸夫	
生活環境	ごみ・リサイクル	家庭で出来る生ごみの減量と有効利用について、生ごみ堆肥化方法について	先崎 久美子 武田 憲子
	ごみ・リサイクル	廃棄物と3R	鈴木 一
	河川環境	河川環境と生活とのかかわりについて	橋本 孝一
都市環境	省エネルギー	省エネ出前授業、スマートライフ、節電・節水と省エネ診断事例	鈴木 一
広域環境	地球温暖化	地球温暖化問題と省エネルギー	鈴木 一
	地球温暖化・エネルギー	地球気候変動に伴う地球温暖化と日本のエネルギー問題、地球温暖化問題と再生可能エネルギー利用	石川 哲夫

(2) 出前講座

本市は、環境問題や公害防止に関して必要な知識の普及・啓発を図るため、市役所出前講座などに講師として市職員を派遣しています。

なお、令和3年度の実施状況は、表13-2(2)のとおりです。

表13-2(2) 出前講座等への講師派遣実績

(令和3年度)			
事業名	目的	開催場所	参加者 合計人数
再生可能エネルギーって何？	地球環境にやさしい再生可能エネルギーの普及啓発を図るため、「なぜ再生可能エネルギーが必要なのか」について学習する。	小名浜海星高校	16人

(3) せせらぎスクール

福島県では、毎年、身近な水辺環境を見直し、水質保全への関心を一層高めるために、「水生生物による水質調査」の参加団体を『せせらぎスクール』として募集しています。

なお、本事業の概要は、次のとおりです。

- ① 対象 小・中学生、高校生、市民団体等
- ② 実施時期 4月～9月末
- ③ 活動内容

川底から採取した水生生物について、定められている30種類の指標生物に照らし、その種類と数により水質を判定します。

④ 教材の提供

参加団体には、福島県から調査に必要となる教材が提供されます。

(4) こどもエコクラブ

公益財団法人日本環境協会では、幼児（3歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブの支援事業を実施しており、本市は、地域事務局・コーディネーターとして市内のクラブを支援しています。

なお、本事業の概要は、次のとおりです。

- ① 対象 幼児、小・中学生、高校生
- ② 実施時期 通年
- ③ クラブの設立方法
 - 1人から登録可能
 - こどもエコクラブ全国事務局への登録手続き
 - サポーター（活動を補助する大人（連絡係））が1人以上

④ 教材の提供

活動のヒントとなる情報などが記載されたニュースレターや、指導者向けプログラム等の支援ツールが提供されます。

(5) 星空観察会(スターウォッチング)

いわき天文同好会では、星空の観察という身近な方法を通して大気環境保全についての意識高揚を図ることを目的に、毎年2回(夏期及び冬期)実施しています(いわき市共催)。

なお、令和3年度は、新型コロナウイルスの感染症の影響を考慮し、夏期及び冬期ともに中止となりました。

(6) 緑のカーテンコンクール

本市は、地球温暖化対策の一環として、ツル性の植物を建物の壁や窓の外側に覆わせ、日よけ効果や夏季の節電効果がある「緑のカーテン」の普及を図ることを目的に、緑のカーテンコンクールを開催しています。

家庭、店舗・事業所、学校の3つの部門で出来栄を競い、優れた取組を表彰し、緑のカーテンの取組として広く紹介しています。

本事業は平成25年度から開催しており、令和3年度は26件の応募がありました。



令和3年度 大賞作品

(7) 「いわき子ども環境賞」コンクール

いわき地域環境科学会では、子どもたちの環境保全に対する理解を深め、また、意識高揚を図ることを目的とし、市内の小中学生を対象とした環境保全をテーマとする標語を夏休みの課題として募集し、その作品を表彰・発表する事業を実施しています（いわき市共催）。

なお、令和3年度の実施状況及び受賞作品は、表13-2(7)-1~2のとおりです。

表13-2(7)-1 第18回「いわき子ども環境賞」コンクールの実施状況

応募作品数	応募者数	応募学校数	受賞者数
857 作品	561 名	合計 19 校 (小学校 11 校、中学校 8 校)	合計 18 名 (最優秀賞 2 名、優秀賞 6 名、佳作 10 名)

表13-2(7)-2 第18回「いわき子ども環境賞」コンクール受賞作品一覧

各賞	受賞作品	
最優秀賞	ゴミじゃなく 資源と呼んで ECOひいき	湯本三小 松本 慈生
	未来へと 続く架け橋 SDGs	錦中 二瓶 彩名
優秀賞	りさいくる できたじぶんに きんめだる	宮小 武藤 紬芽
	資源ゴミ くるくる回れ リサイクル	中央台東小 長瀬 生朗
	ワンチーム エコ活動で 未来をすくえ	赤井小 播磨 咲希
	リサイクル 未来をつくる 夢の加工	錦中 本田 亜蓮
	資源は有限 工夫は無限	玉川中 荒木 結衣
	七浜と 共に生きよう いわきっ子	藤間中 渡邊 泰地
佳作	消すからね ぼくがやります！ パトロール	中央台東小 門間 丈
	のこりもの アイデアしだいで のこりゼロ	勿来二小 秋元 直樹
	リデュース リユース リサイクル どれでも今日からできるエコ	宮小 坪井 大河
	ゴミへらし 地きゆうの未来 つくる今	好間二小 鈴木 里彩
	ハッシュタグ いつも自然は 君みてる	宮小 小堀 月乃
	温暖化 地球の悲鳴が 聞こえてる	錦中 赤津 陽一郎
	陸海空 三つきれいで 三つ星評価	錦中 遠藤 州琢
	食べ残し きれいな未来も 捨てている	錦中 宗像 真叶
	見つけよう まわりで起こる もったいない	藤間中 西戸 あかり
	分別で ゴミにはしない りさいくる	錦中 渡部 颯太

(敬称略)

(8) 野生生物生息生育状況調査（生き物調査）

本市は、生物多様性に関する理解や自然環境保全意識の向上を図るとともに、市内の野生生物の生息・生育状況を把握し、各種環境施策へ活用することを目的に、平成 28 年度より、市民参加型の生き物調査を実施しています。

なお、令和 3 年度の実施状況は、表 13-2(8)-1 のとおりです。

表 13-2(8)-1 生き物調査実施状況

調査期間	調査対象種(生態系被害防止外来種)
6月1日～11月30日	12種類(オオキンケイギク、アレチウリ、オオハンゴンソウ、ナルトサワギク、セイトカアワダチソウ、アカボシゴマダラ、アメリカザリガニ、ウチダザリガニ、ウシガエル、アカミミガメ(ミドリガメ)、アライグマ、ハクビシン)

地球のいのち、つないでいこう
生物多様性

令和3年度いわき市生き物調査結果報告書(全体概要版)

1 調査概要

- 調査期間:令和3年6月1日～令和3年11月30日
- 調査場所:いわき市内全域
- 調査実施者:いわき市内の小学生、市民、事業者及び市職員
- 調査対象外来種:オオキンケイギク、アレチウリ、オオハンゴンソウ、ナルトサワギク、セイトカアワダチソウ、アカボシゴマダラ、アメリカザリガニ、ウチダザリガニ、ウシガエル、アカミミガメ(ミドリガメ)、アライグマ、ハクビシン ※いずれも生態系被害防止外来種



セイトカアワダチソウ

2 調査結果 ※赤字:外来生物法の特定外来生物

【市内全域における外来種の報告数上位5種】

	外来種	報告件数(延数)
第1位	セイトカアワダチソウ	456件
第2位	オオキンケイギク	222件
第3位	アメリカザリガニ	212件
第4位	アレチウリ	196件
第5位	アカボシゴマダラ	185件



アカミミガメ

アメリカザリガニ

【市内各地区における外来種の報告数上位5種】

	平地区	小名浜地区	勿来地区	常盤地区	内郷地区
第1位	セイトカアワダチソウ	セイトカアワダチソウ	セイトカアワダチソウ	セイトカアワダチソウ	セイトカアワダチソウ
第2位	アレチウリ	オオキンケイギク	アメリカザリガニ	アカボシゴマダラ アメリカザリガニ	オオキンケイギク
第3位	オオキンケイギク	アレチウリ	オオキンケイギク	ウシガエル	ウシガエル
第4位	アカミミガメ	アメリカザリガニ	ウシガエル	オオキンケイギク ナルトサワギク	アカボシゴマダラ
第5位	アメリカザリガニ	アカボシゴマダラ	アカボシゴマダラ	アレチウリ ウシガエル	アメリカザリガニ
	四倉地区	遠野地区	小川地区	好間地区	三和地区
第1位	セイトカアワダチソウ	セイトカアワダチソウ	セイトカアワダチソウ	オオキンケイギク アメリカザリガニ	セイトカアワダチソウ
第2位	アメリカザリガニ	アレチウリ アカボシゴマダラ アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	—	オオハンゴンソウ
第3位	アレチウリ ウシガエル ハクビシン	—	オオキンケイギク	セイトカアワダチソウ	アレチウリ ハクビシン
第4位	—	—	アレチウリ オオハンゴンソウ ナルトサワギク	アレチウリ アカボシゴマダラ ウシガエル アカミミガメ ハクビシン	—
第5位	—	オオキンケイギク アカミミガメ ハクビシン	—	—	オオキンケイギク アメリカザリガニ ウシガエル
	川前地区	田人地区		久之浜・大久地区	
第1位	セイトカアワダチソウ	セイトカアワダチソウ、オオキンケイギク	セイトカアワダチソウ、オオキンケイギク	セイトカアワダチソウ、オオキンケイギク	セイトカアワダチソウ、オオキンケイギク

※川前、田人及び久之浜・大久の各地区では、第1位としたもの以外に外来種の目撃報告はありませんでした。

令和3年度いわき市生き物調査結果報告書(全体概要版)

(9) 環境まちづくり担い手育成支援事業（公募提案事業）

本市は、環境に関する市民の意識醸成を図ることを目的とした環境学習等の充実を図るとともに、環境保全活動等の実践者を支援するため、その手法について公募し、選定された応募者が、公募テーマに沿った事業を実施しています。

なお、令和3年度の実施状況は、表13-2(9)のとおりです。

① 公募条件：営利を目的としない、提案内容を実施可能な団体（法人格を問わない。）

② 公募テーマ

- 再生可能エネルギー
- 生物多様性
- 気候変動（地球温暖化を含む。）
- 省エネルギー

表 13-2(9) 環境まちづくり担い手育成支援事業(公募提案事業)実施状況

採 択 団 体	業 務 概 要	業 務 内 容
NPO 法人いわき環境研究室	教材等を用いた体験学習支援	大気・水の性質、自然エネルギーの特徴等についての、講義や各種模型等での体験的な講座。更に、指導に当たる人材の育成を行うもの。
NPO 法人いわきの森に親しむ会	環境教育活動の場を作り、自然体験活動の実践を行う。	SDGsの17目標169のターゲットに沿った体験活動、環境教育活動の場を作り、自然体験活動プログラムを作成し、その実証として自然体験活動の実践を行うもの。